

=====
地域循環共生圏登録団体メールマガジン Vol.24

[2021.3.12]

- 『グリーンインフラ官民連携プラットフォーム第2回シンポジウム』開催のご案内
 - 『地域からのSDGs-私たちの暮らしにとってのSDGsとは』開催のご案内
 - 『ひろがるカーボンニュートラル』動画公開のご紹介
 - 『ローカルSDGsのデザイン～地域循環共生圏の作り方～』開催のご案内
- =====

- 『グリーンインフラ官民連携プラットフォーム第2回シンポジウム』開催のご案内

設立から1年が経過したプラットフォームの成果報告や今後の取組に向けたディスカッション、第1回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」の表彰式を行うとともに、指出一正氏（ソトコト編集長）による基調講演、涌井史郎氏（東京都市大学環境学部特別教授）と伊藤聡子氏（フリーキャスター、事業創造大学院大学 客員教授）による対談などを実施します。

○開催概要

【開催期間】令和3年3月18日（木）～3月23日（火）

【参加費】無料

【プログラム】

3月18日（木）14:00～ オープニング

- ・開会挨拶 二宮雅也 氏
- ・第1回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」表彰式 朝日健太郎 氏（国土交通大臣政務官）
- ・プラットフォームの活動紹介 松家新治 氏（国土交通省総合政策局環境政策課 課長）
- ・グリーンインフラ大賞 事例紹介&ディスカッション①～生態系保全部門：「コウノトリ野生復帰」をシンボルとした自然再生～

3月19日（金）14:00～ 基調講演・事例ディスカッション

- ・基調講演 指出一正 氏（ソトコト編集長）
- ・グリーンインフラ大賞 事例紹介&ディスカッション②～都市空間部門：Marunouchi Street Park 2020～

3月22日（月）13:00～ 事例ディスカッション

・グリーンインフラ大賞 事例紹介&ディスカッション③

～防災・減災部門：仙台ふるさとの杜再生プロジェクト～

～生活空間部門：茨城県守谷市における官民連携による戦略的グリーンインフラ推進プロジェクト～

～生活空間部門：中間支援組織がつなぐ狭山丘陵広域連携事業～

3月23日（火）14:00～ ファイナルセッション

・対談 涌井史郎氏（グリーンインフラ官民連携プラットフォーム会長代理・東京都市大学環境学部特別教授）、伊藤聡子氏（フリーキャスター、事業創造大学院大学客員教授）

・プラットフォームの成果報告と今後の取組について（各部会長、国土交通省）

福岡孝則 氏（企画・広報部会長、東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 准教授）

西田貴明 氏（企画・広報部会長、京都産業大学 生命科学部 産業生命科学科 准教授）

中村圭吾 氏（技術部会長、国立研究開発法人土木研究所 河川生態チーム 上席研究員兼 自然共生研究センター長）

北栄階一 氏（金融部会長、株式会社日本政策投資銀行 地域企画部 課長）

【視聴方法】

シンポジウムの視聴方法については下記専用サイトをご覧ください。

<https://gi-platform.com/>

※第2回シンポジウム開催期間、及び前後の一定期間（3/8～3/28）は、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム Web サイトの会員専用コンテンツを一般公開します。

この機会に、様々なグリーンインフラに関する情報をご覧ください。一般公開されるコンテンツ一覧は下記をご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/content/001388823.pdf>

【お問い合わせ】

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局（運営委託会社） 株式会社創建

E-Mail：green-infra@soken.co.jp TEL：03-6809-1781

=====

■オンライン・フォーラム『地域からのSDGs-私たちの暮らしにとってのSDGsとは「SDGs一危機の時代の羅針盤」発刊に寄せて』開催のご案内

○開催概要

【日時】令和3年3月24日（水）13:30～16:30

【主催】 智頭町、鳥取大学地域価値創造研究教育機構

【協力】 (公財) とっとり県民活動活性化センター、とっとり SDGs 推進会議、智頭ノ森ノ学ビ舎、(同) MANABIYA、(一社) SDGs 市民社会ネットワーク

【後援】 環境省中国四国地方環境事務所

【参加費】 無料 (ZOOM 配信を予定)

【プログラム】

13:30～ オープニング

13:40～第一部「いまなぜ SDGs か」

「SDGs -危機の時代の羅針盤」で伝えたいこと-発刊の意図

稲場雅紀 / (一社) SDGs 市民社会ネットワーク

南博 / 広報外構担当日本政府代表・大使

14:10～第2部「地域からの SDGs—智頭町での取り組み」

《セッション1》 生業・生活統合型多世代共創コミュニティモデル

「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」の目指すもの 國岡将平 (合同会社 MANABIYA 代表・智頭町地域林政アドバイザー)、山本進 (智頭町山村再生課長)

「健康と暮らしの調査」と介護保険計画策定を通じた中山間地域らしい福祉の実現へ 國岡将平 (合同会社 MANABIYA 代表・智頭町生活支援コーディネーター)、芦谷健吾 (智頭町福祉課副主幹)

《セッション2》 地域循環共生圏「麴の降るまち」の「まちやど」構想

竹内麻紀 (楽之)・渡邊麻里子 (タルマーリー)・小林利佳 (PLUS CASA)・村尾朋子 (明日の家) / やどり木協議会

《セッション3》 いのち生まれ育まれる郷づくり

西村早栄子 / NPO 法人智頭の森の子育ち舎代表

岡野眞規代 / (一社) 女性と子どものサポートセンターいのちね代表

《語り合い》 智頭の暮らしの未来を描くことと SDGs

15:25～第3部「地域からの SDGs—広がりを持った取り組み」

・研究教育を通じた SDGs への貢献

「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」から 清水克彦 / 鳥取大学地域価値創造研究教育機構教授

・中間支援組織の SDGs における役割と鳥取県における取り組み 毛利葉 / とっとり県民活動活性化センター事務局長

・なぜ今、“田舎で” SDGs か? 「ローカル SDGs=地域循環共生圏」から地域の未来を考える 上田健二 / 環境省中国四国地方環境事務所長

- ・地域学と地域共創実学教育 村田周祐／鳥取大学地域学部教授
- ・全体語り合い「地域からの SDGs-私たちの暮らしにとって SDGs とは」

【参加方法】 <https://bit.ly/3p0AJIW>からお申し込みください。

※後日、録画配信も予定しています

詳細は下記 URL をご確認ください。

<https://www.core.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/8b284193d262d94bc3acac30e138efd5.pdf>

【お問い合わせ】

seayanak@icloud.com (家中)

=====

■『ひろがるカーボンニュートラル～トップが語る脱炭素～』動画公開のご紹介

環境省では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、取組事例や脱炭素化への想いを語る動画を作成し、HPを立ち上げました。ゼロカーボンシティを目指し脱炭素化の取組を進めている自治体や、TCFD、SBT、RE100など脱炭素経営を進める企業のトップ20名に、取組事例や、取組による効果・メリット、なぜ取り組むのか、取り組んだメリットなどを語っていただいています。

カーボンニュートラルの実践について理解を深めることができる、また、一歩踏み出すためのヒントになるメッセージとなっています。

下記 URL からぜひご覧ください。

環境省ホームページ「ひろがるカーボンニュートラル ～トップが語る脱炭素～」

<http://www.env.go.jp/earth/carbon-neutral-messages/>

=====

■『オンラインシンポジウム「ローカルSDGsのデザイン～地域循環共生圏の作り方～」』

開催のご案内

本シンポジウムでは、環境省による「地域循環共生圏」に関する基調講演の他、企業で取り組まれている「地域循環共生圏」の先進的な事例を御紹介するとともに、有識者や事業者などから情報提供いただき、「地域循環共生圏」ビジネスの創造に必要な視点や要素等について

での議論を行います。
皆様のご参加をお待ちしております。

○開催概要

- 【日 時】 令和3年3月26日（金）14:30～17:00
- 【場 所】 オンライン開催（後段に視聴 URL を記載しております）
- 【主 催】 環境省
- 【共 催】 ジャパン SDGs アクション推進協議会
- 【参加費】 無料
- 【テーマ】 企業が実践する地域循環共生圏のつくり方

○プログラム（予定）

①基調講演「ポストコロナ時代に向けての地域循環共生圏（仮）

中井 徳太郎（環境省環境事務次官）

②話題提供

i) きら星株式会社 「暮らしの変化と地方移住」～新潟県のローカルベンチャーの現場から～ 伊藤 綾（代表取締役）

ii) 株式会社タナックス 「Straw of Straw ～福井から世界へ～」 茂原 隆久（執行役員 営業本部 兼 購買本部 本部長）

iii) 株式会社みんなの奥永源寺 「「奥永源寺地域」から見る「地域循環共生圏」の可能性」
前川 真司（代表取締役）

③パネルディスカッション

テーマ：「地域循環共生圏ビジネスのはじめ方：ビジネス創造に必要な要素や視点とは」

コーディネーター：岡村 幸代（環境省大臣官房環境計画課環境経済政策調査室長）

パネリスト：川本 恭治（城南信用金庫 理事長）、鈴木 雅剛（株式会社ボーダレス・ジャパン 代表取締役副社長）、森 雅俊（プラネット・テーブル株式会社 代表取締役社長）、
山内 幸治（NPO 法人 ETIC. 理事・事業統括ディレクター）

④閉会挨拶

松田 尚之（環境省大臣官房環境計画課長）

【視聴方法】 当日、下記 URL にアクセスして御視聴ください。

<http://www.japan-sdgs-action-festival.jp>

【資料送付の申込方法】

①申込方法

当日投影される資料の送付を希望される方は、専用フォームより、下記（ア）～（エ）4点

御記入ください。

https://www.e-toroku.jp/ticket/user/form/index?form_id=localsdgs202103

ア) お名前 (フリガナ)

イ) 電話番号

ウ) 電子メールアドレス

エ) 御所属

②申込期日 令和3年3月26日(金)

③その他

3月29日(月)以降に資料を送付予定です。また、登壇企業の都合により、当日の資料と一部異なる場合や送付ができなくなることがございます。

また、地域循環共生圏に関する情報等について、今後御案内差し上げることがございます。併せて御了承ください。

【その他】

本シンポジウムは、3月26日(金)、27日(土)で開催されるジャパンSDGsアクションフェスティバルにおいて実施いたします。

なお、本シンポジウムの他に3月27日(土)12:20~13:40で環境省主催のシンポジウム「地産地消で守る!生物多様性」も開催いたします。

なお、同様に無料で以下URLより御覧いただけますので、当日アクセスして御視聴ください。

<http://www.japan-sdgs-action-festival.jp>

【お問い合わせ】

セミナーの内容に関するお問い合わせ

シンポジウム事務局/株式会社野村総合研究所 グローバルインフラコンサルティング部

向井・由藤 E-mail: llocalsdgs2020@nri.co.jp

・Web会議ツール Zoomに関するお問い合わせ 株式会社イベント・レンジャーズ

E-mail: llocalsdgs202103@event-rangers.jp

=====

※このメールマガジンは、地域循環共生圏登録制度にご登録いただいた団体の皆様に登録制度事務局より送信しています。

※配信先の追加・変更・配信停止・その他本メルマガに関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

発行：地域循環共生圏登録制度事務局 (touroku@chiikijunkan.jp)

=====